



第11号

平成21年3月2日
神河町立長谷小学校

平成20年度が終了します。
いよいよ卒業式のシーズンとなりました。

本年度も今月で終わります。音楽室からは卒業式に歌う歌曲のメロディーが流れ、いよいよ3月23日の卒業式が間近に迫って来たことが実感されます。卒業式には神河町教育委員会様・各区長様・民生児童委員様・放課後子ども教室ボランティア様・PTA会長様にはご来賓として出席をよろしくお願いいたします。卒業式はその年の最後の締めであり、また、卒業生にとっては小学校生活の最後の締めくりでもあり、中学生になるためのステップです。最上級生として、下級生の世話や指導をしながら本人達もずいぶんたくましくなりました。大河内中学校へ進学すると、6人の卒業生も1年1組と2組の2クラスに別れます。登校はバスや列車となります。しかし、6人のみんなが助け合って中学校生活を送ってほしいと思います。5年生以下も本年度のまとめをしていきます。

今年度の重大ニュースとしては、アメリカで初めての黒人大統領が選ばれました。アメリカのリーマンブラザーズの経営破綻に端を発する世界大不況が続いています。中国の四川大地震や岩手宮城内陸地震が起きました。食品の偽装や異物混入問題がありました。世界でもいろいろなことがあり激動の平成20年度でした。教育界でも、新しい学習指導要領が告示され、外国語活動や算数・理科の充実が決められ、21年度から先行実施していきます。

そのような中で、長谷小学校児童の学校生活での思い出のベストテンは、1位デイキャンプ、2位運動会、3位NHK合唱コンクール出場、4位学習発表会とマラソン大会、6位校内水泳、7位収穫祭、8位書き初め展、9位芋掘り、10位山登り、校外学習、修学旅行となりました。5年生の自然学校はどうしても4票しか入らないので、ベストテンには入っていませんが、5年生にとっては最大の思い出になったのではないかと思います。子どもたちが大人になると、いろいろな思い出も記憶からどんどん薄れていきますが、心に残るような行事を進めていきたいと考えています。

長谷に愛着を持たせるため、以前は「ふるさと学習」等を行ってきました。このような学習は田舎の学校では普通でした。それは、大人になると町に働きに出かけ、地元に戻ることが少なくなり、そのため子どもの数が減り、地域が寂れていくことに危機感を抱いたからです。そこで、ふるさとの良さを知り、ふるさとに誇りを持ち、ふるさとを愛していこうとする児童の育成に力を注ぎました。しかし、現実には、田舎では働く場所が限られるため、ふるさとに残りたいと思っても、どうしても町に行くこともあります。今後は、町に出て行っても、長谷の良さを語れる人になってほしいと思います。そのためにも、長谷小学校では長谷の素晴らしさを子どもたちに十分に体験させていきたいと考えています。保護者の方にも、地域の方にもご協力をよろしくお願いいたします。